# 爆弾禍に勝つ秘訣

## 早期待避實行せよ

### 生命護る防空壕を補強せよ

廣島の戰訓

【廣島にて名古屋時報特派員発】敵米の廣島市に対する新型爆弾攻撃は明日に彼等の狙撃と報告の相違

を醸呈してゐる。即ち六日八時廿分頃B29小編隊が廣島市に投下した新型爆弾は横長と縦長の目的としたもので二発として廣島市に

相当の被害を生んだ。記者は一瞬の閃光を通つて眼だけ、早くも軍官民一体となつて死から生へ立ちとる逞しい街の中から幾多の戦訓を生んだ防空壕と、新型爆弾から生命を守る必勝の鍵があることを知つた。国内更新に抗し得ず、本土決戦をあせる敵はますますかゝる爆撃眼りなき爆撃を使用することを覚悟しなければならないから、今後は敵米本土距離は防空壕市も重要でよいから頑丈に強つて眼だけを出すといつたものを絶対に敵行することも必要である

相当数列以前廣島駅にあつた敵機音をあたかも通常用部面だけは火鉢をうけてゐなかつた

### 防空非常薬品携行

廣島市内は六月中旬以来のB29の中部西爆撃によつて著々と防空体験の多化を図つてゐたが、大部分の被災者は赤ペン、火傷薬、繃帯、三角巾等の防空薬品携行に乏しかつた。

そのため火傷手当の遅れた人が多かつたが、中には火傷薬を練り混ぜの上から繃帯又は三角巾で手当をして救護所に駆け付け一命を取止めた人もつた之等の人は医師の診察の上数ヶ所をはぐるとに、作業中せず、火傷部もきれいであつた。敵は毒瓦斯戦をあせるあり、この種爆弾色に変化を使用するものと思はれるから、出かける際は必ず防空薬品の携行が必要である

### 早期に待避せよ

廣島市内の待避壕は新型爆弾のものが無数あつた。たとへば駅前に多数の防空壕は盛り土二尺以上で内部の家族も二人命のものが一尺、三尺五寸間隔に打ち込まれてあつたが、則数も三、三分被害であつたが、少しも被害されてゐなかつた、敵

ないひ方がからこのこと自体如何に経済家が仕事の遂行に苦しんでゐるかを示すものといへよう。

戦災による罹災者の救助をせめて間接的に援助することこそ、経済会の当面の最大の任務であり、例へば生活必需品工場の復旧のために資材、労力の調達を助け、給配してやつてこそ真にその使命の一端を果したものと謂ふべきである。かういふ場、会員体の解散するとかの仕事をしてやらうとするとすぐ職業的仕事と競合し、横槍が出る

ために、その度毎に止むなく引下がるのだといふ。これが事実とすれば一体誰は会員あるのか、経済界にあるのか。

商工経済会員体はもつと実力を蓄へ、品格を高め、会員のなかの各種各様の人からもつと積極的な支援を受けるように努力すべきであると同時に、関当局ももつと経済会を利用、活用すべきである。商工経済会に対する世間の批判の一端は、関当局にもあることだけは認めてやる必要があらう。

### 露出面を少くせよ

敵が使用した新型爆弾は閃光と熱風がつよく一瞬にして廣島市、火傷を受け発病の相違、青酸瓦斯弾

## 長崎にも非人道爆弾投下

西部軍管区司令部発表（昭和廿年八月九日十四時四十五分）

一、八月九日十一時頃敵大型一機は長崎に侵入し新型爆弾を投下したものを確認せり

二、罹災目下調査中なるも被害は比較的軽少なる様な